

2006年5月14日

## RECARO FORMEL 3 CUP (ドイツF3) Round 5&amp;6 in Euro Speedway

## 第5戦 予選&amp;決勝 レポート

5月13日(土) 公式予選結果 14位 (1分19秒283) - 1.561秒/出走29台  
 正式決勝結果 10位 (ベストタイム1分20秒133) / 出走28台・完走23台

【公式予選】 9:35 ~ 30分間

前日の公式練習より若干気温が低いものの、太陽の日差しが心地よく差し込むコンディションの下、スケジュール通りの午前9時35分より公式予選が開始された。30分間のセッションすべてを走りきれるだけの燃料を搭載した松村選手は、コース上のダストをできるだけ拾わないですむように、3分程ピット前で待機し、最初にコースインした一団が2周目に入ったタイミングを見計らって予選を開始。序盤はクリアラップを取り、タイヤを暖めながら、徐々にペースを上げていった。そしてタイヤが十分に暖まってきた計測4周目あたりから本格的なタイムアタックへと突入した。しかし前日の公式練習にアタック開始直後のスピンでフラットスポットを作ってしまう、まったくアタックすることができなかった松村選手は、ここでも新品タイヤのグリップを活かした走りがなかなかできず、思うようにタイムを縮めることができなかった。また、セッション中盤にさしかかったところで、アクセルストッパーの取り付けボルトが折れ、ストッパーASSYがモノコック内の足元に脱落するトラブルが発生してしまい、走りに集中することができず。そんな中、何とか自己ベストタイムとなる18秒台のタイムを出すべく、果敢にアタックを続けていた松村選手であったが、結局最後まで18秒台のタイムを計測することができず、15周目に出した1分19秒283のタイムがベストとなり、決勝レースは14番グリッドからのスタートとなった。

## &lt; 予選後のドライバーコメント &gt;

予選は全然ダメでした。とにかく1周をまとめることができませんでした。アクセルストッパーのトラブルで集中してアタックすることができなかったのがありますが、まだ序盤だったので、一度ピットインして脱落したパーツを取り除き、再度アタックすることもできたので、そこも反省点として今後同じ失敗を繰り返さないように努力します。

## 第5戦 予選

出走 29台

POS	No.	DRIVER	NAT.	TIME
1	6	H.P.Tung	CHN	1:17.722
2	25	N.Hulkenberg	GER	1:18.082
3	3	J.Foster	GBR	1:18.188
4	8	R.van der Zande	NED	1:18.357
5	13	M.Thomaz	BRA	1:18.444
6	5	F.Kool	NED	1:18.454
7	46	H.Schlegelmilch	LAT	1:18.568
8	16	R.Bruins	KOR	1:18.572
9	41	J.Theobald	GER	1:18.780
10	27	R.Azzoli	ITA	1:18.877
14	11	H.Matsumura	JPN	1:19.283

予選結果表 : <http://www.formel3.com/ergebnisse/2006-05-14-q1.pdf>

【決勝】 14:05 ~ 25分間

公式予選時の青空から一転、第5戦の決勝レースは薄い雲に覆われた曇り空となった。

14番グリッドの松村選手は、まずまずのスタートを決め、グリッド上でストールした車両を無難にパス、13番手で1コーナーへと飛び込んでいった。そして序盤の数周は12番手を走行する#9 ALLEMANN選手を追走。レース前のエンジニアとの話し合いにより、ストレートエンドでオーバーテイクできるよう、ダウンフォースを減らしたセットで決勝に臨んだ松村選手だったが、苦手としていた1~2コーナーセクションと4速ギヤでほぼ全開で抜けていく高速コーナーのセクションで前を行くALLEMANN選手から離され、その遅れをストレートで取り戻しきれないという状況となってしまう、なかなか順位を上げることができず。それでも後続の車両は徐々に引き離していき、レース終盤に2台のマシンがトラブルとクラッシュで姿を消したことで、11番手に浮上する。このクラッシュによりセーフティカーが導入されるが、松村選手はこのSCランの最中も、常にタイヤを冷やさないうマシンを左右に振り、再スタートに備える。そして、残り1周で決勝レースが再開。このリスタートで何とか前を行く車両を1台でもパスし、トップ10入りを果たしたかった松村選手であったが、最後の1周で順位を上げることができず、11位の順位のままゴールとなった。

正式結果は、レース後の判定により4位でゴールした#5 KOOL選手が黄旗中に追い越しをしたとして降格となり、松村選手は一つ順位が繰り上がって10位となった。このレースを制したのは、ポールポジションからスタートし、一度もその座を空け渡すことなく逃げ切った#6 TUNG選手で、今季2勝目を挙げた。

明日の日曜日には、第6戦の予選と決勝が行われる予定。

#### <レース後のドライバーコメント>

このレースで色々勉強になりました。この結果を明日に必ず活かし、まずは予選で良い結果を出せるように頑張ります！

#### 第5戦 決勝レース

出走28台 / 完走23台

POS	No.	DRIVER	NAT.	GAP	BEST TIME
1	6	H.P.Tung	CHN	25:05.968	1:18.722
2	3	J.Foster	GBR	00.960	1:18.628
3	8	R.van der Zande	NED	04.487	1:18.891
4	25	N.Hulkenberg	GER	07.433	1:19.226
5	46	H.Schlegelmilch	LAT	07.454	1:19.189
6	27	R.Azzoli	ITA	07.931	1:19.254
7	13	M.Thomaz	BRA	09.247	1:19.176
8	9	C.Allemand	SUI	09.387	1:19.922
9	41	J.Theobald	GER	09.693	1:19.481
10	11	H.Matsumura	JPN	10.120	1:20.133

決勝結果表 : <http://www.formel3.com/ergebnisse/2006-05-14-r1.pdf>



レーシングドライバー 松村浩之 オフィシャルウェブサイト

<http://www.hiro-matsumura.com/>